

議会 だより



小豆島町

No. 31

平成26年 2月 1日 発行



みんなで創る、思いのこもった作品たち

地域おこし協力隊、岡村美紀さんによる

子ども絵画教室（坂手）

- 審議議案
一般会計補正予算など 2
- 一般質問
11名の議員が質問 5
- 視察研修報告 10
- 住民の声・まちの力 12

新春の

ごあいさつ



小豆島町議会 議長
秋長 正幸

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃から議会に対しまして温かいご理解とご協力を頂き、心から厚くお礼申し上げます。

本年4月には議員改選が行われ、新しい体制での議会がスタートいたしますが、町が抱える様々な課題に対し「町民目線に立った議会の運営」を基本に、皆様の期待に応え、積極的に議会活動を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

議員 森口久士 谷 康男 大川新也

柴田初子 藤本傳夫 森 宗

新名教男 安井信之 植松勝太郎

渡辺 慧 村上久美 鍋谷真由美

中江 正 中村勝利 浜口 勇

11月臨時会 12月定例会

第2回臨時会が11月18日に開催され、中学校統合に伴うスクールバス購入に関する1議案を審議し、原案通り可決しました。
第4回定例会が12月18日、19日に開催され、条例の一部改正や平成25年度一般会計補正予算を含む12議案を審議し、原案通り可決しました。
なお、決算特別委員会に付託した「平成24年度決算認定」については、決算特別委員長の審査報告のあと、採決を行い、賛成多数により認定しました。

11月臨時会

審議した主な議案

物品購入契約

小豆島中学校

スクールバス購入契約

45人乗りバス2台

契約金額

2,439万4444円

契約の相手方

(株)池田モーターズ

質疑応答

Qどの路線に使うのか。運転手の確保は。

A池田地区については4台、4経路で運行する。このうち蒲生便と中山便に今回のバスを使用する。運転手については業者に委託して運行する予定である。

12月定例会

一般会計 追加補正予算額 1億7,929万8千円

補正予算

一般会計(第4号)

補正予算額は1億

7,929万8千円で、

補正後の予算総額は

88億7,659万3千

円となります。主なもの

は次の通りです。

総務費関係

瀬戸芸展示作品購入費

700万円

坂手地区のスターアングラー、馬木地区のオリーブのリーゼントの2作品を地域のシンボ



地域のシンボルとして活用

ルとして購入するものです。

Qスターアングラーとオリーブのリーゼントを購入するに至った経緯は。

A当初購入するという予定でなかったが、瀬戸芸終了後に買い取り

が決まったものである。購入費はオリーブのリーゼントについては製作費相当分、スターアングラーについてはヤノベケンジ氏の配慮もあり、1,500万円相当のところを500万円にしていた。

Qオリーブのリーゼントとスターアングラーは恒久展示と考えていいのか。

Aメンテナンスをしなから恒久展示していく。

Qその他のアーティストの作品はどうするか。

A作品によってまちまちである。作家の意向を確認し、撤去したいものは撤去し、展示箇所を変えても残したい作品は残していく。

姉妹都市交流事業

助成金

40万円

南島原市との姉妹都市盟約30周年を記念したオリーブ植樹祭を開催するにあたり、小豆島町から約40名の方が参加するための費用です。

質疑応答

Q約40名行くというのが、どういった方が行くのか。

A町長や議員のほか、今まで両町(市)の交流に尽力された方々が参加する予定である。



昨年10月に行われた姉妹都市盟約調印式

労働費関係

小豆島アートデザイン

プロジェクト業務委託料

189万円

アートと産業のつながり、地域とのつながりを更に深め、新しい小豆島の未来を描く事業を委託しようとするものです。

質疑応答

Qプロジェクト業務委託の内容は。

A業務内容は醬・坂手地区を中心として、26年度以降の小豆島全体へのアート展開や、地域との交流事業を企画、準備作業を行うものである。

農林水産業費関係

研修旅費等

8万8千円

有害鳥獣の食肉利用化を研究するための研修費用です。

質疑応答

Q鳥獣被害対策についての研修は、どこに行

くのか。

A鹿肉加工で年間450頭程度の処理実績がある兵庫県の「榊丹波姫もみじ」という会社である。

商工費関係

ふるさと村体育館

屋上防水改修工事等

1,324万4千円

ふるさと村体育館の屋上部の傷みがひどく、追加工事が必要となったものです。

質疑応答

Qふるさと村体育館防水工事について、耐震診断との関係は

A体育館の耐震診断は行っていない。防水工事については当初防水シート修繕のみの工事を予定していたが、防水効果を高めるため、コンクリート部分に塗膜防水を追加し、潮風を受ける部分への補修を加えるものである。

Q町の社会教育施設の在り方を見直すという

動きがある中で、これまで投資して修繕するのはどのような考えでやっているのか。

A今回の修繕については、実際にフロア面が傷むほど雨漏りしており、緊急性があるということで計上している。



修繕を行う室生体育館

教育費関係

芸術家村招へい作家

審査経費

32万8千円

来年度より県が芸術家村事業から撤退し、町独自で事業を継続することとしたため、招へい作家の選定にかかる経費です。

質疑応答

Q芸術家村事業の県の撤退理由は。

A5年間実施し一応の成果を得たということと、県としては小豆島と粟島の2か所だけ特別な形でやるわけにはいかないというのが理由だと思われる。しかし町としては、三都半島に定着し始めたこの事業を新しい形で継続させていきたい。



町独自の事業となる芸術家村

条例の一部改正

学校給食センター条例

の一部改正

中学校の統合にあわせ、池田学校給食センターを廃止し、内海学校給食センターに業務統合するに伴い、設置条例を整備するものです。

質疑応答

Q中学校の統合は4月なのに給食センターは1月統合なのか。池田給食センターの職員の処遇は。

A内海給食センターの増築が8月に終わっており、冬休み中に池田から使える機器の移設が完了できれば、より早く効率化が図れるため1月に統合するものである。職員については県の管理栄養士が3月まで内海に、5人の職員のうち3人が退職、2名が内海へ勤務することになる。



統合した内海学校給食センター

条例制定

町障害者グループホーム条例

障害者への生活支援という町の大きな課題を解決するため、二面地区にグループホームを設置しようとするものです。

質疑応答

Q入所できる人数は。男性のみ利用可能か。利用料金はいくらか。

A定員は5名で、男女は関係ない予定。利用料については、まだ未定である。



グループホームに改装される元二生幼稚園舎

条例廃止

町サイクリングターミナル条例



地域の拠点施設として再活用（坂手）

既に閉館中であり、今後も旅館業としての再開は見込まれないため、その設置条例を廃止するものです。

Q建物はどうするのか。以前には建物横にエレベーターをつけてジャンボフェリー乗り場として整備する話もあったと思うが、Aいずれは解体したいが、当面はアーテイスと地域住民との交流

質疑応答

Q設置も行う契約か。耐用年数は。現在は無料で充電できるが、有料になるのはいつか。A機械の購入費のみである。耐用年数は8年、有料化は未定である。Q現在設置している施設の数。また使用頻度は。A島内には土庄港とオ

物品購入契約

拠点として利用するなど、新しい構想を立て活用していきたい。また、県の方では新たにエレベーターのついた人道橋を整備する方向で進んでいる。

電気自動車普及促進事業にかかる充電設備の整備

契約金額 997万1,850円
契約の相手方 富士電機(株) 四国支社
電気自動車のための充電設備を町内7か所に整備するものです。

質疑応答

Q設置も行う契約か。耐用年数は。現在は無料で充電できるが、有料になるのはいつか。A機械の購入費のみである。耐用年数は8年、有料化は未定である。Q現在設置している施設の数。また使用頻度は。A島内には土庄港とオ

報告

平成24年度決算(意見を付けて)認定
平成24年度小豆島町歳入歳出決算認定については、決算特別委員会(3日間)の結果、意見を付して認定するものと決定しました。



オリーブ公園にある充電設備

総括意見

未収金対策について
は、各課の取り組み及び収納対策室を中心とした連絡会の開催等により、その成果が表れてきているが、今後ともより一層の研究と取り組みを進め、新たな未収金を増加させないよう努力されたい。

四国地区町村議長会表彰

11月5日の四国地区町村議長会において、村上議員が自治功労者表彰を受賞されました。



自治功労表彰を受賞した村上議員

人権擁護委員の推薦

熊坂泰忠氏(福田)、井上喜代文氏(北地)の任期が平成26年3月31日をもって満了となりますので、引き続き熊坂氏は留任し、井上氏の後任として岡秀安氏を推薦することに同意しました。



岡 秀安氏(池田)

4月以降の委員の方は次の方々です。

木村 玲子氏(神懸通) 中武 義景氏(安田)
熊坂 泰忠氏(福田) 石井 葉子氏(馬木)
坂元いさ子氏(吉野) 赤谷 勝之氏(二面)
岡 秀安氏(池田)



浜口 勇 議員

小豆島オリーブバス(株)の 今後の運営は

町「関係者と相談しながら
島民の足確保に万全を期したい」

質問 小豆島内の路線バスは島民にとり、足であり、島を訪れる人にも重要な交通手段である。この会社の設立には島民すべてが出資者となっており、将来もずっと存続せねばならない使命を持っているが、その考えは。

答弁 オリーブバス(株)は小豆島町、土庄町、両町の自治会、地元企業の経営者を中心となり立ち上げた島民が株主の会社である。交通弱者や観光客にとり欠くことのできない交通機関と認識している。谷久社長の体調を心配していたが、劇的な回復をされており、今後も引き続き経営者としての意欲を示され

後土庄町と共に進める。11月1日から交通問題対策室を設けて、今後のあり方を検討している。

オリーブバス(株)を存続させるために、島民の皆さんが公共交通を守る気持ちを持ち、利用していただきたいと思う。

答弁 オリーブバス(株)は小豆島町、土庄町、両町の自治会、地元企業の経営者を中心となり立ち上げた島民が株主の会社である。交通弱者や観光客にとり欠くことのできない交通機関と認識している。谷久社長の体調を心配していたが、劇的な回復をされており、今後も引き続き経営者としての意欲を示され



みんなの力でオリーブバスの存続を



大川 新也 議員

草壁港周辺整備はいつか

町「7年後と言わず、早急に対応したい」

港周辺整備は、7年後と言わず地元の意見、要望があれば早急に対応していきたい。



草壁港の周辺整備を

内海病院外科の
今後は

町「早急に外科医の
招へいを県にも
働きかけ対応する」

質問 内海病院の外科が閉鎖されるが、今後はどのような対応を考えているのか。また新病院建設に関して、考え方を再確認したいが。

答弁 外科常勤医が退職され、島の2公立病院に常勤外科医がいなくなり、島の医療体制が異常な環境になり、危ぶまれる状況になる。特に緊急時の対応

は、すべて高松への搬送となる。今後は早急に外科医の招へいを県にも働きかけ対応する。

新病院建設に関しては、当初の方針に何ら変わりなく進めていく。



手術の風景

職員挨拶励行の
再度徹底を

町「役場内に検討会を
置き、研修などを
行う」

質問 最近また住民より町職員の接客対応に批判の声を聴く。再度徹底を。

答弁 挨拶の励行等について反省する。今後、住民への接客対応向上に関して、検討会の設置・職員研修会の開催等を行い、職員の資質向上に再度取り組んでいきたい。



谷 康男 議員

廃屋等に係る積極的な行政の関与を

町「法整備が遅れるようであれば、町独自の条例制定も検討する」

質問 全国的に廃屋となった建物が増加し、周辺住民に対し生活環境の悪化を引き起こしている。特に小豆島は観光地であり、その景観に対する阻害要因ともなっている。大型の廃屋については自治会で対応できない。

現状を解決するため手法を行政として検討しているのか。現行の各法令でも行政命令に対し措置を講じない場合、強制執行ができるはあるが、町としてこのような法律を適用しての対策をとることができないのか。

答弁 坂手のホテルに対し景観上の改善のために強制執行というのは現行の法制度では無理だと思う。生命に危機があるとか生活環境に著しい支障がある場合は強制執行ができる場合はある。

所有者の意に反しての強制執行は憲法二十九条がある限り非常に難しい。

来年の通常国会でこの問題に関する議員立法が出されると聞いている。その法律ができれば町でも色々な対策ができると思う。もしその法律に相当な時間



廃墟となったホテル群

がかかるようであれば、町として独自の条例を作って対応できるのではないかと考える。



安井 信之 議員

質問 全国学力テストの結果公表について、教育委員会としてどのような対応を検討しているのか。

答弁 公表内容の方法については、学校と事前に十分に相談し、必要な配慮を行う必要がある。

また、平成25年度までの全国学力・学習状況調査の結果については、当該年度の調査に関する実施要領に基づいて取り扱うことが基本となっている。

平成26年度から小豆島町全体の平均正答率及び分析結果、改善方針を示す方向で現在考えている。

学校ごとの公表については、小学校は考え

全国学力テストの結果の取り扱い

町「町全体の成績、分析結果改善方針の公表を考えている」

てはいないが、中学校は1校となるために、個別の学校の公表となる。

新病院の行方について

町「新病院建設は島の医療を守り今後の発展のために不可欠」

質問 新病院の整備が小豆島の未来を左右すると考えるが、今の考えは。

答弁 新しい病院をつくる、2つある公立病院を1つにすることが、小豆島の医療を守ることに必要なり、小豆島の今後の発展に不可欠だという私の考えは微動だにしないものではない。そのこと以外に医師をちゃんと確保できることはないと断言をした

新しい病院をつくることについては、香川大学、それから順序は色々だが、厚生労働省、香川県、香川県の医師会、色々ところが応援してくれると言っている話があるので、これ以外の方策はない。私自身、小豆島の将来は無いというぐらい思っているの、何ら方針が変わりはない。





質問 ABC検査は、胃がんの原因とされるピロリ菌、感染の有無と感染によりダメージを受けた胃粘膜の萎縮度を血液検査で調べるものである。

バリウム検査や、胃カメラ検査よりも血液検査で判定できるために検査を受ける方の負担は少なく、受診率の向上が期待もされる。

胃がん予防の早期発見につながる、この胃がんリスク検診の導入についてどのように考えているのか。



柴田 初子 議員

胃がんリスク検診の導入を

町「国・県等の動向も見ながら検討したい」

質問 現在行っている胃部エックス線検査は、胃がんと食道、胃十二指腸の評価を総合的に行う検査である。胃がんの発症予防（一次予防）のための方法として、ピロリ菌検査は必要な検査だと考えるが、今後公費で行うのか。行うとしたらどういった検診体制で進めていくのかなど、国、県、県内の市町の動向を見ながら検討していきたいと思う。

まず、より多くの住民の方にごん検診を受けていただくよう、二次予防である検診事業を推進していきたいと思う。

また、胃がんの予防においては、食生活の改善や禁煙等の一次予

一般質問

ABC分類	A群	B群	C群	D群
ピロリ菌	-	+	+	-
ペプシノゲン値	-	-	+	+
胃がんの危険度	低	→		高
おすすめ検査頻度	5年に1回	3年に1回	2年以内	毎年

特定非営利活動法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構の資料をもとに作成

防も大切であることから、がん予防健康教育を継続して実施する。今後がん検診を初めとする各種がん検診の全般の必要性を踏まえて、ピロリ菌検査についても検証していきたいと考えている。

質問 粛々と「医・食・住」の確保を進めるために、新病院の完成に向けた決意と進捗状況は。

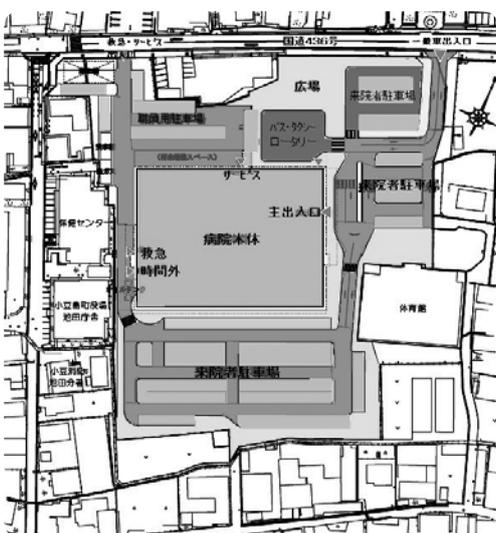
土庄町文化センター館長による新交通システムの提案は新病院内に配車ステーションを設置。患者の予約に連動して配車計画を立て、島内各方面よりタクシー、ワンボックス

粛々と「医・食・住」の確保を

町「通院だけでなく島民全体の足確保対策として進める」



中江 正 議員



新病院の配置図

カーで送迎を行い、病院と連携した送迎車の受け入れを、高齢化と交通事故防止と捉えている。

新交通システムの移動手段と新病院の安全対策の進捗状況は。

質問 新病院の交通手段を中心とした高齢化に起因する交通安全対策の必要性、移動手段の確保でデマンド交通システムの構築に関する私案として作成されたものと理解している。

新病院の基本設計段階から取り組んでいる

事項であるこの移動手段の確保は、病院の通院、買い物だけでなく車を持たない人たちの問題として対策を講じていく必要がある。

新病院の進捗状況は、医療組合で予定通り実施設計を終え、現在建築確認中で、一部修正を行っている。地域医療再生基金の交付要件がある。従来の工事着工が3月末までであったものが、実施設計完了までとなる。交付要件が満たされれば28年の春の開院に向けて予定通り進捗している。



森 崇 議員

高潮対策と石垣対策 など地域の安全確保は

町「関係機関・所有者と 協議していく」

る。石垣の木も大きくなって水苔の筋もある。レッドゾーンの指定も解決にならない。これ以上先送りすべきではないのでは。

答弁 映画村は年間20万人の観光客が訪れている。高潮対策など県に早期の改良を要望する。横断歩道は関係機関と協議して強く要望したい。

古江の石垣は民間が所有しており法律上、

現代版「猪鹿対策」について

町「地域での環境づくり」に努め

町も積極的に対策に取り組む」

質問 私たち議員は島根県のイノシシ対策を視察した。鳥獣被害は全国に広がっている。

鹿や猪が住民の近くまで来ていることが原因だ。努力しているが

私たちは何も出来ない。自助・共助は私たちの任務だが公助として町の政策は。

質問 平成16年の高潮は昭和20年以来だった。映画村近くの高潮対策、駐車場の潮風対策など残っている。田浦バス停の横断歩道も必要だと思う。

古江地区「星屑の村の石垣」は約50年前につくられ、直下の人は当時から避難してい

難しいが町が窓口になって所有者と協議していく。



県と町の石垣対策を聞く古江地区役員

質問 最近は住宅地まで鹿や猪が出没して社会全体の深刻な問題となっている。地域で環境づくりや勉強会などに取り組んでもらいた

い。

町単独の防護柵を検討中で積極的に取り組む。



鍋谷真由美 議員

重度心身障害者医療費助成 の患者負担減を

町「前向きに検討する」

質問 重心医療費助成で、本町を含む3町以外は、軽減または無料。負担軽減と現物給付を。

答弁 前向きに検討する。

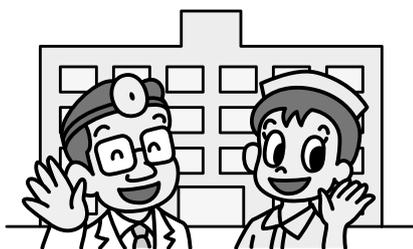


新病院建設で医師確保ができるのか

町「新病院では医師確保の好循環が始まると確信している」

質問 香大付属病院長のいう「2病院が健全に運営でき、スタッフが新病院へ引き継がれることが医師を派遣する条件」が満たされない実態がある。

医師確保はできるのか。新病院建設方針を變更すべきでは。



答弁 激励の趣旨であり、新しい病院で、医師確保の好循環が始まると確信している。

町「問題なければ加盟したい」

平和首長会議への加盟を

質問 平和首長会議は、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続け、世界で5831都市・県下で土庄町など8市4町が加盟。加盟すべきでは。

答弁 問題がなければ加盟したい。



2013年8月広島市で開催された平和市長会議総会



村上 久美 議員

社会保障改悪プログラムは 生存を危うくするのでは

町「やむを得ない 選択である」

質問 社会保障改悪プログラム法案は、強行可決され、社会保障を国民の自助・自立と規定し、負担増と給付減を迫っている。
本町は、町民の暮らしを守る観点から、社会保障改悪プログラムについて何らかの行動をとったのか。また、この法案で町民の生活をどう守るのか。さらに、国民への負担増、

給付減は3兆円を超えるものだが本町の影響額はいくらか。

答弁 社会保障改正プログラムは、少子高齢化が進み経済成長が鈍化すれば、負担は増やし、給付は辛抱し、痛み分けしかなないと考え、やむを得ざる選択である。

影響額は70〜74歳患者負担36万円、入院給付4,300万円、介護保険利用者負担3,250万円、介護保険施設の食費・居住費の補助縮小1,400万円の負担増が見込まれる。

消防池田分署の存続を

町「2署体制に移行し、消防団や自主防災組織の活性化を図る」

質問 小豆の消防体制を2署体制にし、池田分署は廃止すると総務建設常任委員会で採決された。しかし、池田分署の廃止は地区住民の命・財産は守れない。

消防署員の増員を含め池田分署は存続すべきでは。

答弁 消防署員の増員は住民負担増になる。消防署の設置基準においては2署体制に移行し、消防団や自主防災組織の活性化を図っていく。



消防池田分署

迂回道の設置を

町「前向きに検討
実施する」

質問 中蒲生の国道にある信号から浜方面に入る町道の迂回道の設置は、新高校建設に伴ってさらに車両の増加で交通事故の危険性が高まる中、要望にこたえるべきでは。

答弁 前向きに検討、実施することを考えている。



森口 久士 議員

廃棄物埋立処分事業の 今後は

町「3年後の再延長はしない。 安全対策に万全を期す」

はどうするのか。

答弁 徳本地区、吉野地区の住民の皆様には廃棄物埋立処分事業に長期にわたり協力をいただき、改めて感謝を申し上げます。

また、長年迷惑をかけてきた吉野地区の地域振興は地元の皆様とよく相談しながら検討していく。

吉野処分場は、安全対策に十分配慮してきたと認識している。今後も

地元とよく相談して事業終了後も含め安心して暮らせるよう安全対策に万全を期していく。

住民の皆様
の気持ち
を尊重し、
3年間の
延長を
お願い
しつつ、
次



吉野埋立処分場



中村 勝利 議員

4月に行われる 町長選挙に立候補を 町「チャンス을いただける ならば、頑張りたい」

質問 塩田町長は、小豆島を元気にすることを目指して福祉・医療・教育・観光・産業に力を入れ4年間で町は大きく変わりつつある。移住交流推進事業、瀬戸内国際芸術祭、坂手神戸間のフェリー就航など、多くの事業を行ってきた。

これからの4年間で、病院の再編、新設高校の建設、小中高の一貫教育、幼稚園・保育所の統合、急速に進む少子高齢化対策などをやり遂げ、全国から注目されるまちづくりのモデルとなるよう、町長選挙にぜひ立候補を表明していただきたいが。

答弁 40年ぶりに小豆島町長として故郷に迎えていただき感謝している。この間、自分なりに努力をし、成果が出つつあると思うが、小豆島が元気になるために

チャンス을いただけるなら、全力投球で町長として頑張っていきたい。

質問 塩田町長より立候補表明がなされたが、立候補にあたり、選挙公約は何を重点に置くのか。

答弁 島に住む人々が『和気あいあいと生きていて良かった』、そういう島にするために4年間やってきたことを引き続き充実させ、小豆島がトップリーダーとしてやっていくように頑張っていく。



島の子どものための未来のために

視察研修報告

総務建設・教育民生の2常任委員会は、平成25年11月27日～29日にかけて、合同で島根県美郷町と広島県呉市で視察研修を行いました。



島根県と広島県の県境に位置する美郷町は四方を山に囲まれた人口5000人弱の町。

美郷町役場産業振興課

『薬草・薬樹の郷づくり構想について』

基本構想として「みんなのできる森を生かした新産業美の生薬のまち」薬草・薬樹・山野草の郷づくり」ということを念頭に置き、健康食品原材料づくりの民間企業を中心に農家と協力して、桑葉、大麦若葉、ハトムギなどの栽培面積の拡大を図っている。

《研修内容》

これらの取り組みから農業の担い手確保や耕作放棄地の解消、農業経営の安定など地域農業の未来に光を当てていくよう具体的な施策（ドクダミの試験栽培や栽培普及の研修会）を展開している。



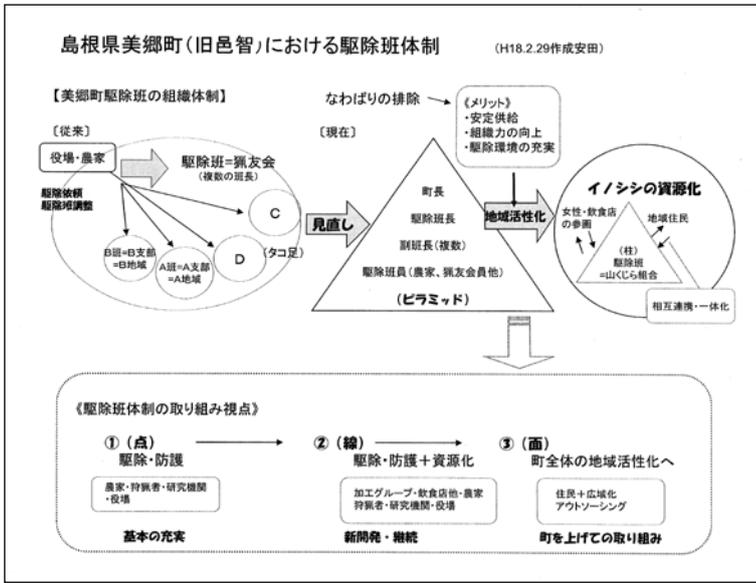
美郷町での研修風景

『イノシシ対策について』

担当職員が対策に取り組んでいく中で

- ①町に言えば何とかなるだろうという行政依存
 - ②補助金依存
 - ③猟友会依存
 - ④猟友会の駆除班に組織力がない
- という4つの問題点が浮かび上がってきた。それらの課題に対し
- ① 駆除概念の明確化
 - ② 駆除班を再編し農家でも免許取得を推進
 - ③ 駆除班の班長を1人にし、ピラミッド型の組織に変更

こうすることで、駆除したイノシシを一ヶ所の処理場に集約し、



イノシシ駆除班に関する資料 (美郷町提供)



住民研修用畑にある掲示 (美郷町)

「狩猟の役割は動物の害をなくし、農家の被害を減らすことにある」として、イノシシ駆除班の活動が、今までのやり方だけでなく、新たな手立てを本腰入れて実践していくなど、問題点を引きだし、新たな手立てを本腰入

食肉処理方法も一定にできるようになった。現在では駆除班そのものが「おおち山くじら生産者組合」を設置し、組合自ら奨励金を出せるまでの組織となっている。イノシシを資源化することで、駆除班や役場だけでなく、飲食店など一般住民を巻き込むことができていくという。

《研修を終えて》 獣害を転じて「福」となす美郷町の取り組みは、全国からの視察の受け入れや研修会参加を通じ全国にその成果を発信している。ハード面の対策だけではなく住民の意識改革が欠かせないと判断したことが素晴らしいと感じた。

獣害被害の深刻さは、当町に限らずどこも同じであるが、今までのやり方だけでなく、新たな手立てを本腰入れて実践していくなど、問題点を引きだし、新たな手立てを本腰入

「医療費適正化に向けた取り組みについて」 呉市の現状：高齢化率約31%・全国の同規模の都市の中では最も高齢化率が高い。市民一人当たり年間医療費が41万3千円で、全国平均の約1.34倍である。その対策として民間の事業者が委託し、*レセプトの電子データのデータベース化を行う「健康管理増進システム」を導入し、被保険者の健康保持・増進、負担軽減、そして医療費の適正化を図っている。

《研修を終えて》 大変進んだ取り組みを通じて、成果もあけており、全国から多くの視察が来ているものなはずだ。自治体初

「医療費適正化に向けた取り組みについて」 呉市の現状：高齢化率約31%・全国の同規模の都市の中では最も高齢化率が高い。市民一人当たり年間医療費が41万3千円で、全国平均の約1.34倍である。その対策として民間の事業者が委託し、*レセプトの電子データのデータベース化を行う「健康管理増進システム」を導入し、被保険者の健康保持・増進、負担軽減、そして医療費の適正化を図っている。



呉市は、戦後造船鉄鋼業を中心に発展した瀬戸内有数の工業都市。人口約24万人。

呉市「健康管理増進システム」の内容

①ジェネリック医薬品使用の促進
利用促進通知を発送し、切り替えを促す。
開始当初30%⇒80%が
ジェネリック医薬品に切り替え。
平成20年からの5年間で5億631万8千円の節減

②保健事業の推進
・糖尿病性腎症等の重症化予防事業
・重複、頻回受診者の保健指導
・生活習慣病放置者フォロー事業
・薬の重複、禁忌、併用回避の指導など

③レセプト点検の充実・効率化
各種検索項目の自動化や画面による縦覧点検の実現により、レセプト仕分員の報酬を220万円削減。

の視察が来ているものなはずだ。自治体初のジェネリック差額通知の取組みは、当初様々な困難があったというのだが、最終的には医師会・薬剤師会等の理解と協力が得る



ことが出来たこと。当町でも、関係者に理解を求めていくこと、また、国民健康保険事業により雇用した保健師・栄養士が訪問活動等を行って、参考にして取り組めることからも実行できればと感じた。

*レセプト…患者が病院でどんな診療を受けたかを記載した明細書



「住みよい地区を めざして」

井上 喜代文

(北地自治会総代)

小豆島町北地(きたいじ)地区は池田中学校の北面に位置して国道436号から斜面に集落があり、世帯数は155、地区内には4河川が流れています。

昭和36年、51年と大きな災害を受けました。その他ゲリラ豪雨が来れば氾濫する個所もあり、台風のたびに気を使います。そんな地区なので自主防災組織は旧池田町の中でもいち早く組織され、毎年2~3回訓練を実施しています。

また傾斜地に農地があり、オリーブ・ミカン・菊等の栽培が盛んにされています。農地には中山から導水管を引き配水池をつくり各畑に

灌水が出来るように、地区内の先人が苦勞の末、完成させています。

昨今、サル・シカ・イノシシの被害が多く発生して困っています。町や県のすすめにより昨年末電気柵1.5km設置して、今年は電気柵の管理、運営に取り組んでいく所です。また地区内には高齢者が多く生活をしています。自治会で高齢者福祉事業に24年から町の支援を受け、毎月第三日曜日に『北地元気村』と称して75歳以上の一人暮らし高齢者に会食サービスを行っています。世話人、スタッフは自治会役員をはじめ地区民総出でお世話をしています。食事も毎月、色々とメニューを変えて楽しんでいただいております。今後、我々も年を重ねた時に地区内でいつまでも元気で生活が出来るよう頑張っていきます。



まちの **カ** 池田男子 バレーボールクラブ



池田男子バレーボールクラブは、3年生から5年生までの男女9人で活動しています。

毎週火・木・土曜日の3日、池田小学校体育館や苗羽の内海体育館で練習に励んでいます。

バレーボールは1人では出来ません。自分一人頑張っても、勝てません。仲間がいて、一緒に力を合わせるから勝てるスポーツです。だから、常に自分は今、チーム、仲間のため

に何をすべきかを考えて行動しています。

特に、心がけているのは、挨拶をはじめめとする『声出し』です。声を出すことで仲間と繋がりが、前向きな姿勢でいられるからです。

今、私たちは一人ひとりが自分の目標を持ち、2月に行わ



れる県大会での勝利を目指して一生懸命練習に取り組んでいます。

興味を持たれた方は、気軽に見学や体験に来てください。池田男子バレーボールクラブと一緒にバレーが出来る仲間を募集しています。

よろしくお願ひします。

【連絡先：代表 坂田美紀

☎75-2355】

編集後記

今年は、何事も「うまく乗り越えていく年」にしたいものです。そして、町議会選挙があり、新たなスタートが始まります。

議会における一般質問は町政全体を網羅する課題があり、議員が一番活躍できる舞台です。それを掲載する「議会だより」は住民が何よりも注目するのが一般質問です。議員の質問は多岐にわたって政治課題を質問すべきです。その編集においては今よりペーτζ数を増やし、さらに内容も格調高いものを目指していかなくてはと思います。そのことが住民の皆さんに「議会だより」をより関心持ってご覧頂けるのではないかと考えます。



本紙に対する
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL (0879) 75-1100 FAX (0879) 75-0108

E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp

議会だより 平成26年2月1日 12